

令和5年度

学生によるオレンジリボン運動

同朋大学 実施報告書



実施主体 井上薫4年ゼミ、3年ゼミ

実施内容 大学祭での出店・展示・地域の方へのアンケート(4年ゼミ)
高校への出張授業(3年ゼミ)

①事前に取り組んだ内容

【4年ゼミ】

3年次に取り組んだ「学生によるオレンジリボン運動」の報告書を作成した。

※井上ゼミ3年(2023)「子ども虐待防止の輪を広げる「学生によるオレンジリボン運動」の取り組み(報告)、『S学会ジャーナル(同朋大学社会福祉研究)』

Vol.24、15-19、2023年3月発行

<出店チーム>学内だけではなく学外の方々にオレンジリボン運動を知ってもらうため、飲食の販売を通して普及活動を行うとし、メニューの決定、試作品の作成等に取り組んだ。

<展示チーム><アンケートチーム>学園祭を通し幅広い年代にオレンジリボン運動を広めるためアンケートや活動動画などを使い説明するために、展示内容の検討、アンケートの準備を行った。

【3年ゼミ】

①オレンジリボンの活動について詳しく調べ、ゼミ内で理解を深める。

②高大連携授業の指導案を仮作成する。

③台本を共有する。

④グループワークの事例作成を行う。

⑤アンケートやオレンジリボンなどの配布物を作成する。

⑥模擬グループワークを行い、グループワークの時間配分や発表グループ数について検討する。

⑦台本の読み合わせをして、台本を添削し完成させる。

⑧授業実施教室の下見を行い、ワークシートの配り方やグループの組み方を決める。

⑨高大連携授業のリハーサルを行い、時間などの最終調整を行う。

②実施期間に取り組んだ具体的内容

【4年ゼミ】

<出店チーム>ラスクとオレンジジュースの販売を行う。オレンジリボンを配布する。オレンジリボンの概要について説明をする。児童虐待防止に取り組む団体に寄付するため募金活動を行う。お店の看板を落書きスペースにして自由に書いてもらう。

<展示チーム>去年行ったオレンジリボン運動の活動で子ども虐待に関する本の選書を行った際に手に取ってもらえなかった点から今年も本を紹介した。また、当日の参加者からひと言メッセージまたは絵を書いてもらって、展示した。

<アンケートチーム>大学祭に来られた地域の方々にアンケートを実施。調査内容は、「オレンジリボンの認知度」「どこからが虐待」「子ども虐待の通報先の認知度」。

【3年ゼミ】

同朋高校に依頼をし、同朋高校三年生を対象に授業を行った。2023年12月18日（月）の1時限（8:55~9:45）に実施し、当日の出席者は65名。内容は、①あいさつ、②オレンジリボン運動についての説明、③4つの虐待の説明、④グループワーク（用意した2事例を用い「子どもの気持ち」「受講生はどんなことができるか」を話し合い、全体に発表する）、⑤子どもを支える支援の説明、⑥アンケート、からなる。

③オレンジリボン運動を終えて・・・

【4年ゼミ】（写真1~3）

＜出店チーム＞

商品を販売する難しさやオレンジリボン運動を普及させる大変さを感じたとともに、いろんな人とのつながりや仲間と協力して一つの目標を達成しようとする楽しさも感じる事ができた。

＜展示チーム＞

子どもたちと関わる仕事をする事になる。その際、虐待の可能性のある家庭と出会わないことがベストだが、そういった場面に出会ってしまうこともあるかもしれない。そうした時に子どもだけでなく悩んでいる保護者にも支援をしていけるようにこれまでの活動を通して培ってきたことを活かしていきたい。また多くの方に知られていないという現状があるということを知り、オレンジリボン運動の大切さを学んだ。

＜アンケートチーム＞

アンケートを実施した結果から、オレンジリボン運動に関する「189」や「虐待防止」のキーワードやポスターをスーパーや駅などで見ていて知っている方が多いことが分かった。

子どもの虐待は児童相談所と関連付けて知っている一方で、まだまだオレンジリボン運動の内容は世間に浸透されていないことを理解した。

＜全体のまとめ＞

今後はオレンジリボン運動を知ってもらうだけでなく、オレンジリボン運動を理解し認識してもらえるような活動を続けていきたいと考える。

【3年ゼミ】（写真4、5）

高大連携授業を通して、「オレンジ

写真



写真1 4年ゼミ



写真2 出店の様子



写真3 展示

リボン運動に興味が湧きましたか？」という問いに「ややそう思う」が29人と最も高く、「あまりそう思わない」が0人と最も低かった。授業を受けてよかったと思いますかという問いには、「ややそう思う」が31人「そう思う」が18人と今回の取り組みでのねらいに達したと考える。

生徒のアンケートの感想では、オレンジリボン運動の内容について知らない生徒も多く、「授業を通して学ぶことができた」等の声が多かった。

このことから、授業を通して、オレンジリボン運動の認知度を高めることができたのではないかと考えられる。また、グループワークの実施により学生自身が虐待に対し、どのように向き合っていくべきか等を考えるきっかけになったと考える。

自由記述欄では多くの意見や思いが記述されており、私たちが目標としていた子ども虐待の理解を深め、オレンジリボン運動について知るきっかけづくりを行うことは達成されたと言える。



写真4 高校での授業の様子

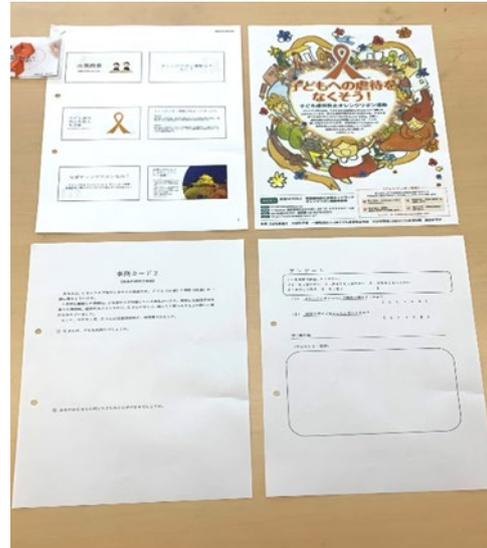


写真5 授業用配布資料

【学校名】 <https://www.doho.ac.jp>